

指導者 T① 八木 靖浩
T② 福田 雄介
T③ 松木 邦紘

1 単元名 サッカー

2 運動の特性

一般的特性

攻守が入り交じり、主に足を使ってパスやドリブルをし、ボールを運びシュートし合い、得点を競い合っ楽しむ運動である。

～子どもから見た特性 省略～

3 視点と学習の手立て

(1) 市教研体育部会の研究仮説

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

(2) 研究の視点

視点1 子どもの実態を的確に把握し、運動の特性と指導内容を明確にしたうえで、子どもたちが学習意欲や目標をもって取り組めるよう道すじを工夫する。

<手立て>

○2クラス3Tでの指導

多くの子どもが「シュートを決める」「勝つ」「活躍する」など「うまくいったとき」にサッカーが楽しいと感じていて、その楽しさが意欲に密接にかかわっている。学習のはじめに行う「ボールに慣れ親しむ時間」とねらい①の4時間では、3人の指導者が全12チーム中いつも同じ4チームを見るようにする。個人やチームの課題や伸びが把握しやすく、一人一人やチーム全体の課題に応じた決め細やかな指導ができると考える。ねらい②では、ねらい①で多くの課題が残されたチームや、ねらい②の対抗戦であまり勝てない、うまくいっていないチームを重点的に見るようにする。3人の指導者があらかじめ各チームの課題を共有し、指導にあたることで、個人やチームの意欲や技能を向上させることができると考える。

また、試しのゲームでは「どう動いたらいいかわからず」ボールに触れられない、活躍したくてもできない子どもが11名いた。ゴール型において、大切な技能の一つが「ボール保持者とゴールの間に体を入れて相手の得点を防ぐこと」であり、「どう動いていいのかわからない」子どもにとって、最もわかりやすい動きだと考える。技能の低い子どもには、3人の指導者が共通して、「ボール保持者とゴールの間に体を入れて相手の得点を防ぐ動き」を指導、助言していき、ゲームの中でその動きが身につくようにしていきたい。

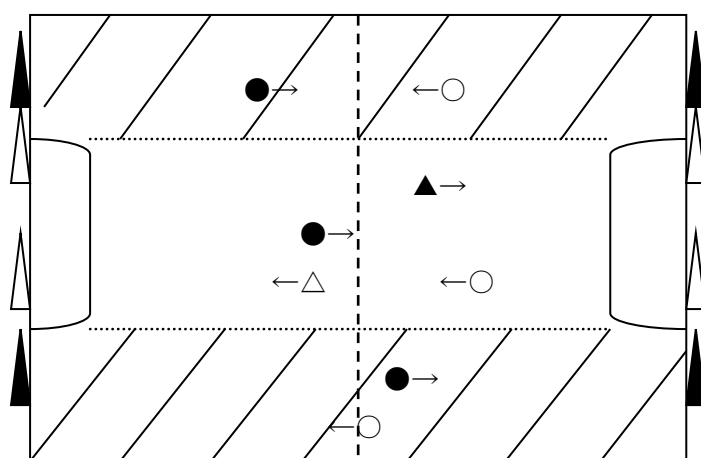
視点2 一人一人のよさを伸ばす学習を進めるための手立てを工夫する。

〈手立て〉

○グリッドの工夫

高学年のサッカーが小コート、少人数で簡単なルールで学習が展開され始めたのは約30年前である。文科省が2000年に出したサッカーの資料の、3対1のグリッドサッカーを本校の子どもで試したところ、技能差が大きすぎてしまい、3対1でも攻撃が有利にならず、比較的上手な子どもだけで攻撃し、シュートをする傾向が見られた。また、試しのゲームではどう動いていかわからない子どもが11名いた。子どもの願いとしては「シュートを決める」「たくさんボールに触れる」ことである。そこで、以下のグリッドを用意する。

【たてグリッド3コート攻撃マン】



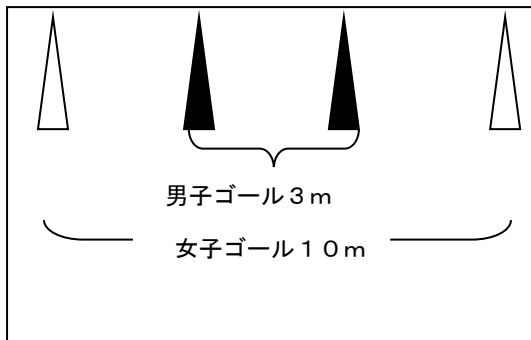
- ・●○はたてのグリッドのみ自由にプレーできる。
- ・▲△はハーフラインよりも攻撃側のコートでは自由にプレーできる。(攻撃マン)
- ・攻撃マンは、前後半で入れ替える。

このグリッドでは攻撃側が数的優位な状況でプレーできるため、シュートやパスがしやすく、多くの子どもに活躍するチャンスが与えられると考える。また、基本的には1つのグリッドに1人しか入れないため、たてグリッド2コート（一つのグリッドで3対1や3対2の数的優位な状況をつくる）よりも、一人一人の責任が高まり、全員がボールに触れ、活躍する機会が多くなるだろう。

○ドリブル、ショートパスサッカー

休み時間の試しのゲームで、男子の技能の高い子どもがハーフウェーラインの手前からロングシュートをしたり、前に大きく蹴りだしたりする場面が見られ、その度に試合が止まってしまった。また、技能の低い女子の中にはボールにおびえてしまい、ボールへのプレスが消極的になってしまった。実態調査の中でも、もっと試合を楽しむためにはみんなでパスを回すという意見が一番多く、ボールにかかわりたいという願いを感じた。そこで、男子および女子の経験者のインステップキックを禁止し、ドリブルショートパスサッカーを目指していく。そうすることで技能の高い子どもだけでなく、全員がサッカーの特性に触れることができると考えた。

○ゴールの工夫



試しのゲームから、技能の男女差が大きいことがわかった。また、多くの子どもが「シュートをしたい」と願っている。そこで、左の図にあるように、男子ゴールの外側に10mの女子ゴールを設置する。ゴールを工夫することで、全員にシュートを決める機会が増え、意欲的に活動するだろう。男子も女子もお互いの技能差を認め合い、全員がいきいきと活躍できるだろうと考える。

○得点の工夫

子どもたちの願いは「シュートをしたい」「たくさんボールに触れたい」ことである。しかし、試しのゲームでは、ボールにかかわる子ども、シュートをする子どもが限られていた。そこで、得点方法を工夫することで、チームで協力してみんなで楽しめるゲームにしていきたい。

得点のルールは、チーム全員がシュートを決めたら5点とするチームワーク得点制を採用する。そうすることで、チーム全員でパスを回したり、シュートしたりする機会が増え、みんなが楽しめるゲームとなるだろう。また、シュートを決めるための攻撃の仕方を考えたり、技術的なことを教え合ったりすることで、お互いに認め合う場ができるだろうと考えた。

<はじめのルール>

- チームの人数 ・ 5～6人（前後半でメンバーを入れ替える）
- ゲームの人数 ・ 4人
- 得点 ・ チームワーク得点（ゲームに出ている全員がシュートを決めたら5点）
- ルール
 - ・セルフジャッジ ・ 体の接触は認めない
 - ・ボールが出たら両手でサイドラインから投げ入れる（ファールスローはなし）
 - ・ハーフラインより守備側でスローインをする場合は、自陣のサイドラインのどこからでも投げてよい。
 - ・男子全員および女子経験者はインサイドキックのみ。
- 時間と流れ ①第1試合→②反省・話し合い→③第2試合→反省・振り返り（前後半6分）

4 学習のねらいと道すじ

(1) 学習のねらい

- ◎主に足を使ってパスやドリブルをし、ボールを運びシュートし合い、得点を競い合って楽しむ。
- 友達と協力して、ルールやマナーを守って楽しく学習を進めようとしている。

【関心・意欲・態度】

- チームの特徴に合った作戦を立てている。【思考・判断】
- ボールを受けやすい場所に移動し、パスやシュートをしたり、ボール保持者とゴールの間に体を入れて相手の攻撃を防いだりすることができる。【技能】

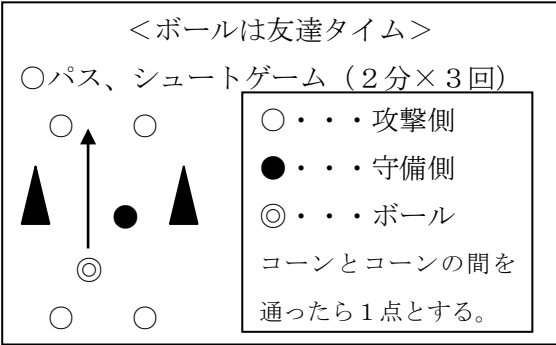
(2) 学習の道すじと評価

	1	2	3	4	5	6	7 (本時)	8
0 ↓ 4 5	オリエンテーション	準備運動・ボールは友達タイム						
		ねらい① やさしいルールでゲームを楽しむ。 (リーグ戦)				ねらい② チームに合った作戦を立てて ゲームを楽しむ。(対抗戦)		
関・意・態	○	○	○			○		
思・判				○			○	○
技能					○			

5 評価規準 (おおむね満足できる状況)

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
○サッカーの学習に進んで取り組もうとしている。 ○ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 ○用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。 ○場や用具の安全を確認しようとしている。	○グリッドの使い方を知り、自分に合っためあてを立てることができる。 ○チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てている。	○ボールを止めたり、ねらったところにパスやシュートをしたりすることができる。 ○ボールを保持していないときに、ボールがもらいやすい場所に動くことができる。 ○ボール保持者とゴールの間に体を入れて、相手の攻撃を防ぐことができる。

6 学習活動と支援（本時7／8）

はじめ	<p>【オリエンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや道すじを理解し、学習の進め方について見通しをもつ。 ○マナーや安全、学習カードの使い方を理解する。 ○グリッドの使い方や簡単なルールを理解する。 ○場や用具の準備・片付けについて理解する。 ○試しゲームをして、次の学習のめあてを立てる。 	
なか か ①	<p style="text-align: center;">学習活動と内容</p> <p>1 学習に必要な用具を準備し、場づくりをチームごとで行う。</p> <p>2 ボールは友達タイムを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">＜ボールは友達タイム＞</p> <p>○パス、シュートゲーム（2分×3回）</p>  <p>○・・・攻撃側 ●・・・守備側 ◎・・・ボール コーンとコーンの間を通ったら1点とする。</p> </div> <p>3 めあてと学習の進め方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>ねらい① やさしいルールでゲームを楽しむ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の進め方やルールを確認する。 ○個人のめあて、困っていること、チームのめあてを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>＜個人のめあての例＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんボールに触ってシュートを決めたい。 ・失点を0にしたい。 <p>＜チームのめあての例＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員がシュートを決めて勝ちたい。 ・みんなでパスをつなげることを意識しよう。 </div>	<p style="text-align: center;">教師の支援・評価（支援○・評価◇）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○用具の準備を協力してできるように声をかける。 ◇用具の準備で、分担された役割を果たそうとしている。【関・意・態】 ◇場や用具の安全を確認しようとしている。 【関心・意欲・態度】 ○ボールの扱い慣れるために、できるだけたくさんボールに触れるよう声をかける。 ○3人の指導者は、毎時間同じ4チームの指導に入り、ボールを止める、ねらったところに蹴るコツを個人の技能に応じて指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ○グリッドの使い方、得点のルールについて確認し、みんなで楽しむゲームにしようとする。 ○話し合いがうまくいかないチームには3人の指導者それぞれの担当チームに積極的にかかわり、話し合いがスムーズに行えるように支援する。 ◇グリッドの使い方を知り、自分に合っためあてを立てることができる。【思考・判断】 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>・みんなのめあてや困っていることを共有し、教え合い、ゲームに生かそう。</p> <p>・どんなゲームができるチームになりたいかな。</p> </div>

<p>4 やさしいルールでゲームを行う。 (リーグ戦)</p> <p>①第1試合 前後半6分 ②反省・話し合い3分 ③第2試合 前後半6分 ④反省・振り返り3分</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>○ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セルフジャッジ ・体の接触を認めない ・ボールが出たら、サイドラインから投げ入れる(ファールスローはとらない) ・ハーフラインより守備側でスローインをする場合は、自陣のサイドラインのどこからでも投げてよい。 </div> <p>5 チームごとに振り返りをし、学習カードに記入をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人のめあてやチームのめあては達成できたか。 ・協力して楽しくゲームできたか。 ・みんながボールにたくさん触れたり、シュートしたりできたか。 <p>6 整理運動をして、後片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ストレッチを中心に、使った体の部位を伸ばす。 ○安全に気をつけながら、友達と協力して用具を片付ける。 	<p>○積極的にボールにかかわっている子どもや、みんなでボールに触れるようにしているチームを称賛する。</p> <p>○技能の低い子どもにはまず、「ボール保持者とゴールの間に体を入れて、相手の攻撃を防ぐこと」を指導する。</p> <p>○3人の教師が分担して、担当チームの中でつまずきが見られる子どもには、「シュート」「ボールがないときの動き」にポイントをしぼって指導するようにする。</p> <p>○ルールやマナーを守ってゲームをしているか確認し、必要に応じて指導する。</p> <p>◇サッカーの学習に進んで取り組もうとしている。【関心・意欲・態度】</p> <p>◇ルールやマナーを守り、友達と助け合ってゲームをしようとしている。【関心・意欲・態度】</p> <p>◇ボールを止めたり、パスやシュートをしたりすることができる。【技能】</p> <p>◇ボールを保持していないときに、ボールがもらいやすい場所に動くことができる。【技能】</p> <p>◇ボール保持者とゴールの間に体を入れて、相手の攻撃を防ぐことができる。【技能】</p> <p>○課題ができているチームには助言をし、次時のめあてがもてるように支援していく。その際、3人の教師は、担当している4チームを中心に入るようにする。</p> <p>○チームごとによかったところや頑張ったところなどを話し合い、次時の意欲を高められるようにチームごとに声をかけ、称賛していく。</p> <p>◇用具の片付けで、分担された役割を果たそうとしている。【関心・意欲・態度】</p>
--	--

<p>1 学習に必要な用具を準備し、場づくりをチームごとに行う。</p> <p>2 ボールは友達タイムを行う。</p> <div data-bbox="237 544 785 651" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">＜ボールは友達タイム＞</p> <p>○パスシュートゲーム（2分×3）</p> </div> <p>3 めあてと学習の進め方を確認する。</p>	<p>○用具の準備を協力してできるように声をかける。</p> <p>◇用具の準備で、分担された役割を果たそうとしている。 【関心・意欲・態度】</p> <p>◇場や用具の安全を確認しようとしている。 【関心・意欲・態度】</p> <p>○3人の指導者はねらい①と同じ4チームの指導に入り、ボールを止める、ねらったところに蹴るコツを個人の技能に応じて指導する。</p> <p>○技能が高まってきたら、なるべくボールを見ないでボール操作を行うよう助言する。</p>
<div data-bbox="279 786 1345 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">ねらい② チームに合った作戦を立ててゲームを楽しむ。</p> </div> <p>○学習の進め方やルールを確認する。</p> <p>○個人のめあて、困っていること、チームのめあてを話し合う。</p> <div data-bbox="228 1003 785 1624" style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>＜個人のめあての例＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空いているスペースを見つけてフリーでパスをもらえるように動く。 ・守るときはゴールを背にして守り、相手の攻撃を防ぎたい。 ・ボールを取ったらまず上手な子へパスをつなげたい。 <p>＜チームのめあての例＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員がシュートを決めて勝ちたい。 ・ボールをもったらすぐに他の子は前に上がってパスをもらえる位置に動く。 <p>○作戦を確認する。</p> </div> <div data-bbox="228 1697 785 1984" style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>＜作戦の例＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・攻撃の上手な〇〇くんを攻撃マンにしよう。 ・女子にも積極的にパスをして、ボーナス得点をねらおう。 </div>	<p>○チームの特徴に合った作戦を立てて、みんなで楽しむゲームにすることを確認する。</p> <p>○自分のめあてだけでなく、友達やチームのめあてを確認し、ゲーム中も意識しながらプレーするよう助言する。</p> <div data-bbox="847 1115 1434 1335" style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてがなかなか立てられない子にはこれまでの学習カードを振り返ろう。 ・どんなゲームにしたいかを意識して、チームのめあてを立てよう。 </div> <p>○話し合いがうまくいかないチームには3人の指導者それぞれの担当チームに積極的にかかわり、話し合いがスムーズに行えるように支援する。</p> <div data-bbox="847 1552 1457 1832" style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の技能が高まってきたね。〇〇ちゃんはゴールを背にして守るのが上手になってきたよ。 ・真ん中ばかりじゃなくて、サイドも使って攻撃すると得点が入りやすいね。 </div> <p>◇チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てている。 【思考・判断】</p>

<p>4 ゲームを行う。</p> <p>①第1試合 前後半6分 ②反省・話し合い3分 ③第2試合 前後半6分 ④反省・振り返り3分 (第1試合と第2試合は同じチームと対戦する)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><反省、話し合いで予想される発言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこにパスをするか迷ったら、相手が来る前に攻撃マンにパスをしよう。 ・サイドの子は攻撃の時にボールのところまで上がってパスをもらおう。 ・〇〇さんは守備が上手になったね。次はゴールを決めよう。 </div> <p>5 チームごとに振り返りをし、学習カードに記入をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人のめあてやチームのめあては達成できたか。 ・みんながボールにたくさん触れたり、シュートしたりできたか。 ・作戦はチームに合っていたか。 <p>6 整理運動をして、後片付けをする。</p> <p>○ストレッチを中心に、使った体の部位を伸ばす。</p> <p>○安全に気をつけながら、友達と協力して用具を片付ける。</p>	<p>○ボールを受けやすい場所に動いている子どもや、励まし合いができているチームを称賛し、よい動きや励まし合いが全体に広がっていくようにする。</p> <p>○3人の教師は、2コートずつを分担して見るようにし、特に負けが多いチーム、技能の低いチーム、作戦が上手く機能していないチームに入り、支援する。</p> <p>◇ルールやマナーを守り、友達と助け合ってゲームをしようとしている。【関心・意欲・態度】</p> <p>◇ボールを止めたり、狙ったところにパスやシュートをしたりすることができる。【技能】</p> <p>◇ボールを保持していないときに、ボールがもらいやすい場所に動くことができる。【技能】</p> <p>◇ボール保持者とゴールの間に体を入れて、相手の攻撃を防ぐことができる。【技能】</p> <p>○チームごとによかったところや頑張ったところなどを話し合い、次時の意欲を高められるようにチームごとに声をかけ、賞賛していく。課題が出ているチームには助言をし、次時のめあてがもてるように支援していく。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・もっとパスを回すためにはどうすればよいか。 ・シュートを入れるためには、どこに動けばよかったかな。 </div> <p>◇用具の片付けで、分担された役割を果たそうとしている。【関心・意欲・態度】</p>
<p>まとめ</p> <p>○学習を振り返り、まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と助け合って、ルールやマナーを守り、サッカーを楽しむことができたか。 ・自分のチームの特徴に合った作戦を立てることができたか。 ・ボールを止めたり、狙ったところにパスやシュートをしたりすることができたか。 ・ボールを持っていないときに、ボールをもらいやすい位置に動いたり、ゴールを背にして守備をして、相手の攻撃を防いだりすることができたか。 	